

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:R5 年 3 月 8 日
事業所名:重心児 放課後等デイサービス アモル
別添様式2

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|---|--------------|--------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 確保できている。対面で過ごす児童が多いときは、おやつ時にはマットを片付けるなど、スペース確保に努めている。 | はい14名 | 引き続き、スペース確保の工夫 |
| | 2 職員の適切な配置 | できている | はい13名 わからない名 | 引き続き継続 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | ほぼできている | はい14名 | 引き続き継続 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 毎日の清掃、毎回利用時のトイレ清掃など | はい14名 | 引き続き継続 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 職員間で話し合ったり、申し送りノートで情報を共有している | | 引き続き継続 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 実地できていない | | 今後検討 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 確保できている | | 引き続き継続 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを行ない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 連絡帳やメール、電話、また送迎時を利用して、保護者のニーズに寄り添い、分析した上での作成を目指している | | 引き続き継続 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 作成している | | 引き続き継続 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 記載している はい14名 | | 引き続き継続 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|------------------|---|---------------------------------|--------------|--------------------|
| 適切な支援の提供 （続き） | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 毎日の支援で実地している | はい13名 わからない名 | 引き続き継続 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | ほぼ実地できているが、先を見越したプログラムの立案を目指したい | | 改善の余地あり |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 実地している。利用時間に応じた支援ができる。 | | 引き続き創意工夫継続 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 実地しているが、バリエーションをもつと増やしていきたい | | 引き続き創意工夫継続 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 9 支援終了後ににおける職員間でその日の関わられた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画 | 実地していない | | 今後検討 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|---|--------------------|--------------------|
| 関係機関との連携 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | 学校や病院などとは必要な情報を共有しているが、その他の関係機関とともに連携をとりたい、 | | 引き続き連携の努力が必要 |
| | (医療的ケアが必要な子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保健所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するこれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 児童発達支援センターや差達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 実地している | | 引き続き継続 |
| | 児等差達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 実地できていない | はい11名 いいえ2名 わからない名 | 機会があれば交流したい |
| | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | | | |
| | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | | はい13名 どちらともいえない名 | 引き続き継続 |
| | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 実地しているが、丁寧な説明まではできない場合もある | はい12名 どちらともいえない2名 | 今後は丁寧な説明を心がけたい |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------------|--|---|------------------------------|--------------------|
| 保護者への説明責任・連携支援 | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施 | ペアレントトレーニングが必要な利用児がない | はい3名 どちらともいえない4名 わからぬ7名 | |
| | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 実地している | はい14名 | 引き続き継続 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 保護者の方に寄り添った対応が出来るよう心掛けている | はい9名 どちらともいえない3名 わからぬ2名 | 引き続き継続 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 実地していない | いいえ2名 どちらともいえない1名 わからぬ11名 | コロナ感染もあり難しい |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制調整や、子どもや保護者に周知及び苦情があつた場合の迅速かつ適切な対応 | 保護者の方に寄り添った対応が出来るよう心掛けている | はい8名 わからない6名 | 引き続き継続 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 実地している | はい14名 | 引き続き継続 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 月一回のアモルレターや、その時の様子を写メなどでお知らせしている | はい14名 | 引き続き継続 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 実地している | はい13名 わからない1名 | 引き続き継続 |
| | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 感実地している | はい8名 わからない6名 | 引き続き継続 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 訓練は行つたが、大々的にお知らせができないので、別紙でお知らせするなどの工夫が必要 | はい5名 わからない9名 | 今後検討課題 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|-----------------------------------|--------|--------------------|
| 非常時等の対応 | 3 廉待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 研修がコロナ感染のため中止になった 今後の研修には参加したい | | |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 実地している 引き続き継続 | | |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 実地している 引き続き継続 | | |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内の共有の徹底 | ヒヤリハット用のノートを作り、共有徹底している 引き続き継続 | | |

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R5 年 3 月 8 日

別添様式2

事業所名:放課後等デイサービス アモル

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|---------------------------|-------------------------|--------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | できている | はい9名 どちらともいえない1名 | 引き続き継続 |
| | 2 職員の適切な配置 | できている | はい7名 どちらともいえない1名 | 引き続き継続 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、ノリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | できている | はい9名 どちらともいえない2名 わからぬ1名 | 引き続き継続 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 掃除、換気を徹底している | はい9名 わからぬ1名 | 引き続き継続 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 職員間で常に情報を共有し、日々改善に取り組んでいる | | 引き続き継続 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | | | 今後検討 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 実施できていない | | |
| | 4 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 実施している | はい10名 | 引き続き継続 |
| 適切な支援の提供 | 1 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 実施している | はい10名 | 引き続き継続 |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 実施している | はい10名 | 引き続き継続 |
| | 3 | | | |

| | | | | |
|----|---|--|-------|--------|
| 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画に沿った適切な支援の実施 | 実施している | はい10名 | 引き続き継続 |
| 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 日々ミーティングを行い活動内容を決定して いる | | 引き続き継続 |
| 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やか な支援 | 平日(は1日1つ)は全員で活動できるレクリ エーションを考えている。旧地溌や長期休暇 は積極的に外出も行っている | | 引き続き継続 |
| 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫 の実施 | 毎日レクリエーション内容を変えている | | 引き続き継続 |
| 8 | 支援開始前における職員間でその日の支 援内容や役割分担についての確認の徹底 | 実施している | | 引き続き継続 |
| 9 | 支援終了後ににおける職員間でその日行わ れた支援の振り返りと気付いた点などの情 報の共有化 | 口頭で伝えたり申し送りノートを利用してい る | | 引き続き継続 |
| 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施 | 実施している | | 引き続き継続 |
| 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達 支援計画又は放課後等デイサービス計画 の見直し | 実施している | | 引き続き継続 |

適切な支援の提供
(続き)

| | | | |
|---|--|---------------|-------------------------------------|
| 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談事業所のサービス担当者会議へリ参画 | 実施していない | 今後検討 |
| 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子などを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | 対象者なし | |
| 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子などを支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | 対象者なし | |
| 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学校部）等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 実施していない | 今後検討 |
| 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 実施している | 引き続き継続 |
| 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | オンラインにより参加 | 引き続き継続 |
| 7 | 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | コロナのため実施していない | はい4名 わからない2名 いいえ4名（必要としている） 今後検討 |
| 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 実施していない | 今後検討 |
| 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | はい10名 | 引き続き継続 |

関係機関との連携

| 保護者への説明責・連携支援 | | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画を示しながらの支援内容の丁寧な 説明 | している はい10名 | 引き続き継続 |
|--|--|---|---------------|--------|
| 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対するペアレント・トレーニング等の 支援の実施 | しているない はい3名 いいえ4名 わからない3名(必 要ない) | 今後検討 | | |
| 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃 から保護者との共通理解の徹底 | している はい10名 | 引き続き継続 | | |
| 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 への適切な対応と必要な助言の実施 | していない はい3名 いいえ4名(送迎時に毎回十 分に話せているので足りている) わか らない3名 | 今後検討 | | |
| 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開 催による保護者同士の連携支援 | していない はい3名 | 今後検討 | | |
| 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体 制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情 があつた場合の迅速かつ適切な対応 | 対応している はい8名 どちらともいえない1名 わか らない1名 | 引き続き継続 | | |
| 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮 | している はい10名 | 引き続き継続 | | |
| 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報についての子ども や保護者への発信 | 活動の様子をレターやSNSで発信、個人ライ ンで送る等している はい10名名 | 引き続き継続 | | |
| 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 実施できている はい9名 わからない1名 | 引き続き継続 | | |
| 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルの策定と、職員や保護 者への周知徹底 | 実施している お知らせにて配布 はい7名 わからない3名 | 引き続き継続 | | |

| | | | | |
|---|---------------------------------------|--------------------------|--------------|--------|
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 地震を想定した訓練を実施 | はい8名 わからない4名 | 引き続き継続 |
| 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 確保している | | | 引き続き継続 |
| 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 対象児童なし | | | |
| 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 対象児童なし | | | |
| 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内の共有の徹底 | 実施している 情報共有し話し合っている | 危険があった際は職員間で情報共有し話し合っている | | 引き続き継続 |